給食施設栄養管理状況報告書(様式1) 記載要領

この報告書は，給食施設における給食運営及び栄養管理等の状況を把握するために，柏市給食施設指導要綱第4条2項の規定により報告を求めるものです。

給食施設報告書を通じ，施設が栄養管理の状況を自己チェックし，課題を見出し，対象者の健康づくりに向けた栄養管理に取り組んでいただくことが記載の目的です。柏市ではこの報告書を通して課題を共有し，改善に向けた支援方法を検討していきます。

以下，施設にとっての各項目の記載方法を示します。

【共通事項】

- ピンク色のセルは該当するものに〇をする。
- 白色のセルには該当事項を記載する。(文字や数字)
- 緑色のセルには半角数字を入力する。
- オレンジ色のセルは自動計算のため入力しない。

番号	項目	記載方法
	年月日	●保健所に提出する年月日を記載。
	給食施設の名称･所在地	●保健所に届出している名称･住所を記載。 (施設の名称であり，委託先ではない)。
	施設管理者職氏名	●当該給食施設の管理者の職名･氏名を記載。担当者や給食受託会社の管理者のことではない(例:保育園の園長，学校長，施設長など)。
1	施設種類	●該当するものに〇をする。
2	運営方式	●該当するものに〇をする。
3	1日提供食数	●対象者別，朝食～夕食，その他(　)の食事区分別に**11月の1日当たりの平均提供食数及び提供開始時間**を記載する。 ●朝･昼･夕･その他(　)の「その他(　)」の(　)には「夜食」等，該当する食事名を記載する。 **※おやつは利用者数には含めない。**
4	対象者の把握	(1) 健康･栄養状態等の把握 ア 年1回以上，施設が利用者の身体状況，栄養状況等の把握をしている ●把握項目が1つでもあれば「有」に〇をする。 ●対象者(原則として全員)の健康･栄養状態について，把握しているものに〇ををする(調査等の実施主体は問わない)。 イ 肥満並びにやせに該当する者の割合の把握 ●以下の評価方法を用いた把握の有無と，「有」の場合，把握した年月を記載する。 ●対象者，肥満者，やせの者の人数を記載し，割合を算出する。 〇幼児(3歳以上6歳未満)： 幼児身長体重曲線 肥満:肥満度15%以上　やせ:肥満度－15%以下 〇児童･生徒： 学校保健統計調査方式 肥満:肥満度20%以上　やせ:肥満度－20%以下 〇成人(18歳以上)： BMI(体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)) 肥満:25.0以上　やせ:18.5未満 ※指定の評価方法以外を用いた場合は，それぞれの算出方法に応じた評価基準で判定する(太りすぎ，やせすぎに該当する人数を記載する。) (2) 性･年齢･身体活動レベル別人員構成の把握 ●対象者の性･年齢･身体活動レベル別人員構成を把握している場合は「有」に〇をする。 ※性･年齢別人員構成や総人数のみ把握している場合は「把握無」とする。
5	栄養計画	(1) 献立を作成するうえでの基準の作成 ● ア～ウの献立作成基準の作成状況について，該当する項目に〇をする。 【献立作成基準作成例】 ア 「食品構成」:食品群別の使用量目安(食品構成) イ 「テーマ献立」:郷土食，行事食 ウ 「旬の食材，地場産物の使用計画」等。

5	栄養計画	(2) 給与栄養目標量及び実施給与栄養量の算出 ア　食種名と給与エネルギー目標量を記載 ●食種名と給与エネルギー目標量を記載する(**複数ある場合には献立作成上ベースとしている食種または提供食数の最も多い食種を〇で囲む**)。 イ　上記食種の栄養量 ●5 (2) アに記載した食種(複数ある場合は〇で囲んだ食種)の**11月の1日当たりの栄養量及び充足率**を記載する。 ウ　給与栄養目標量の見直し ●給与栄養目標量が対象者の特性に合った設定となっているか，給与栄養目標量の設定の見直しの実施状況を記載する。 【例】6か月毎に見直しを実施していれば，「一定期間毎に見直しを実施」に〇した上で空欄に(2回/年)と記載する。 エ　給与栄養目標量の設定　・　オ　実施給与栄養量の算出 ●すべての食種について実施状況を記載する。 (3) (2)の給与栄養目標量のうち，給与エネルギー目標量の設定方法を記載する。
6	食事計画	(1) 献立作成 ●献立作成の有無に〇をする。 (2) 管理者への献立の事前承認および実施報告 ●管理者が予定献立の事前承認(決裁)をし，実施献立や実施給与栄養量の事後報告を受けているかどうかについて，該当するものに〇をする。
7	栄養教育	(1) 栄養情報の提供 ア　栄養成分表示 ●栄養成分表示：該当するものに〇をする。 ※「有」＝対象者用献立表に表示しているものをいう。調理指示書等に表示しているものは含めない。 イ　その他 ●生活習慣病予防や健康づくりに関する情報提供→①で手法，②で情報提供している情報の主な内容を記載する。 (2) 食に関する指導 ●4～11月の実施状況について内容を記載する。
8	評価	●把握事項がひとつでもあれば「有」に〇をする。 ●実施「有」＝栄養計画・食事計画に沿った給食の提供，栄養教育の実施等により，対象者に期待された効果をもたらしたかを調査等により把握している場合。 ●食事摂取量の調査＝次のとおり把握している場合は〇をし，個別か集団か該当する箇所にも〇をする。 「個別」とは，個人毎に喫食量を把握している場合をいう。 「集団」とは，全体の料理毎の残渣量を把握している場合をいう。
9	改善に向けた連携	●栄養計画・食事計画・栄養教育・評価等について話し合う会議の実施状況を記載する。 ※会議が複数ある場合は，主たる会議について記載する。 ※他の会議は「上記会議以外の情報共有」欄に会議名を記載する。
10	災害発生時の体制	●該当するものに〇をする。「有」の場合は対象，人数，日数，主なものを記載する。併せて，「災害対策セルフチェック表」(柏市ホームページ参照)を活用し，体制の強化を図る。
11	従事者の研修会参加	●4月～11月における従事者の研修会参加回数，内容を記載する。
12	今後の取り組み計画	●課題に対し，施設でどのように取り組むのか，課題及びその改善計画についてそれぞれ記載する。 【記載例】 課題：食に関する指導回数が少ない(集団指導〇回) 計画：会議等を活用し，他職種と連携して栄養教育を行えるよう検討する。
13	報告書作成者	●本報告書の作成者を記載する。 ※本報告書の内容確認ができる連絡先を記載をする。